

佐久市立国保浅間総合病院評価委員会 議事録

日 時：令和7年2月7日（金）

午後4時00分～午後5時00分

場 所：浅間総合病院 中央棟講堂

出席者：佐久市立国保浅間総合病院評価委員4名

病院事業管理者1名

事務局（事務長、看護部長、総務課長、総務課長、医事課長、地域医療室長、在宅支援室長、経営戦略室長補佐、経営戦略室長補佐、施設係長、経理係長、用度係長、医事係長、情報管理係長、経営戦略室係員）15名

1 委嘱書交付

2 開会

3 委員長あいさつ

4 会議事項

（1）令和5年度決算状況について

事務局から令和5年度決算状況について説明

委員から意見無し

（2）令和6年度経営状況について

事務局から令和6年度経営状況について説明

委員から意見無し

（3）浅間総合病院経営強化プランに対する実績等について

事務局から浅間総合病院経営強化プランに対する実績等について説明

（委員）

資料3-2の1（3）イについて、一般病棟から転棟割合を満たさない場合、85/100に減算。現状のままでは8000万円減収の見込みとありますが、どのような対策を行うのでしょうか。

(事務局)

病床数を199床にすることで、地域包括ケア病棟の基準を変える事ができることから、この減算を回避したいと考えております。

(委員)

どこの施設も大変な状況ですが、経営改善に努力をすることで、実を結ぶのではないかと感じられます。皆様の所では、経営の面でどのような取り組みを行い、改善した所はあるのでしょうか。

(病院事業管理者)

一番大きな取り組みは、内科医を充足させて救急を受入れられるようにしました。さらに、救急医療が積極的に行えるように体制を整えまして、救急の受入れの割合は、およそ10%増加していると思います。その他には、職員一同が節約を行い、光熱費等が削減された所です。

(委員)

救急車の搬送は増えているのでしょうか。

(病院事業管理者)

一時期より全体的に増えています。当院だけではなく、近隣の病院にも救急搬送の患者が増加傾向であります。しかし、救急車が来たからと言って受入れに結び付く訳ではないので、結び付けていくことが必要だと考えています。

(委員)

私は、子供たちに地域の中で協力していくことを伝えている立場であります。今の時代は、情報が豊かになりましたが、人との繋がりで貧しい生き方をしている方々もいらっしゃいます。知っているつもりでいることが多くなりましたが、貧しいなと私は感じています。浅間総合病院には、声が届く病院として、地域を支える一員となり協力していただきたいと思います。

また、以前は入院した時に、病室の中では患者同士が顔を見てお互いに声をかけあって過ごしていました。今ではカーテンをひいてしまい、顔を見ることができなく、会話が少ないと感じています。私は薬や注射よりも、笑顔で暖かい言葉をかけてあげることが出来るのかということを知ったことがあります。言葉の暖かさが大切だと思いますが、声がかげにくいと感じているのは、個人のプライバシーを守るということを徹底しているからでしょうか。

(病院事業管理者)

患者の呼び出しは、全国的に名前を呼んではいけないという状況になっています。コロナ禍以降は、カーテンを開けている状況はほぼ無いと言えます。昔は、誰もカーテンを引かずにいた気がしますので、時代の変化とともに寂しく感じています。

(委員)

経営強化プラン(資料3-3)の11番の所に、患者満足度調査がありますが、意見箱はどこに設置されているのでしょうか。

(事務局)

1階の入り口を入れて右側のトイレの前にご意見箱があります。他にも、各病棟に設置しています。

(委員)

なかなか診療報酬の点数が上がらないという中で、自由診療で何か工夫されている所はありますか。

(病院事業管理者)

一昨年からは、無痛分娩を始めまして、昨年度は70件行い、700万円増収しました。また、出産件数は全国的に少なくなっていますが、昨年度は50件程増加しました。今年始めたのは、皮膚科によるレーザー治療によるシミ取りを始め、徐々に自由診療を行って経営改善を図りたいと思います。

(委員)

人間ドックはどうされていますか。

(病院事業管理者)

人間ドックはまだ手をつけていませんが、非効率な部分を整理して、効率を上げていきたいと考えています。

(4) その他

(事務局)

今回は、令和6年度の決算がまとまり、議会への報告を終えた所で評価委員会を開催したいと思います。時期は秋ごろを予定しており、改めて通知いたします。

5 閉会